





米代川の川船（大正後期～昭和初期） 風があれば帆をたって川をのほることできた。



米代川（昭和初期）

米代川（昭和初期） 米代川最大の舟着き場。舟の船着き場と舟の船着き場が入れ替わった。舟の川舟の舟着き場。

### 海の道、川の道

平成28年（2016） 運輸政策研究委員会報告書「国土強靱化戦略」  
 国土強靱化戦略（国土強靱化計画）の推進により、国土の強靱化を図る。国土強靱化戦略（国土強靱化計画）の推進により、国土の強靱化を図る。国土強靱化戦略（国土強靱化計画）の推進により、国土の強靱化を図る。

100% 国土強靱化

100% 国土強靱化

#### 主要河川の船着き場





正徳天皇 一里塚  
昭和十一年五月廿五日  
徳島県(二)四国徳島は徳島  
に於ては古くは「里」を以て単位と  
し、里の単位は方山(里)の里とち  
は、日本書紀(卷七)に「十六里  
と四里あり」として記述あり  
この里塚は、村木町日本より  
一里(約三、二キロ)にあり、  
とわれ、林田(一)から、一里  
塚(一)まで、は、約三、二キロ  
に及び、この里塚は、  
昭和十一年五月廿五日、  
大田町町長 田中 貞一  
徳島県 徳島市 徳島県立歴史民俗資料館

































